

TRIM

Report

株主通信

第37期決算報告

2018年4月1日～2019年3月31日

株主の皆さまへ

グローバルなメディカルカンパニーへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。2019年3月期(第37期)におきましては、当社グループ全般に亘り順調に推移し、グローバルなメディカルカンパニーへのステップを着実に進めてまいりました。2020年3月期(第38期)につきましては、将来の持続的成長実現のための積極的な先行投資を実施しつつ、売上高7.8%増、経常利益19.2%増の増収増益を計画しております。

医療関連事業が成長ステージに

整水器販売事業におきましては、「健康経営」を切り口とした企業への一括導入方式販売に引き続き注力してまいります。東北大学との糖尿病患者への電解水素水の飲用による臨床試験や東京大学との電解水素水の物性に関する共同研究、国立研究開発法人 理化学研究所との電解水素水の効果の機序解明に関する共同研究などの成果が、第38期から随時、論文として発表される見込みであり、整水器の普及促進への大きな後押しになると考えております。インドネシアのボトルドウォーター事業では、2025年に売上高170億円の目標を掲げ、その実現に向けて成長を加速するとともに生産体制の強化に取り組んでおります。医療関連事業におきましては、電解水透析事業が約300施設と折衝中で収益に貢献できるステージに入ってきました。また、国内最大の民間さい帯血バンクを運営する株式会社ステムセル研究所は、新規契約数が過去最高水準で推移しており、本格的な成長軌道にのりました。中国の病院事業は、立ち上がりが少し遅れておりますが、中国最大の保険グループと提携するなど、本格的稼働に向けて着実に進捗しております。

2020年3月期 配当増配を予定

配当金につきましては、安定的かつ継続的に配当を実施していくことを基本に、通期業績や財務状況を勘案し、2019年の年間配当は1株あたり60円(配当性向38.2%)とさせていただきます。2020年3月期は、増収増益を見通し、年間配当を10円増配の1株あたり70円とさせていただきますと予定しております。

日本トリムグループは、「快適で健康なヒューマンライフの創造に貢献する」という企業理念のもと、グローバルなメディカルカンパニーへと移行し、持続的成長を実現してまいります。引き続き相変わらぬご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



株式会社日本トリム 代表取締役

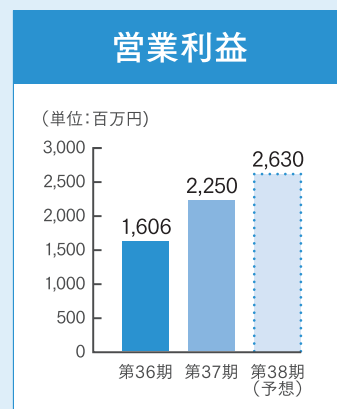
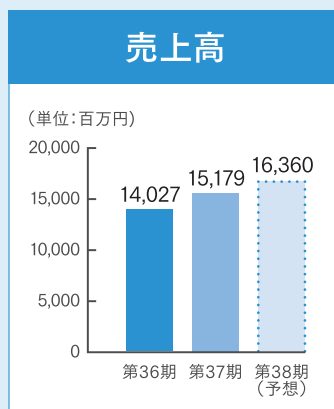
森澤 紳勝

売上高

151億79百万円

前期比 8.2%増 ↗

整水器販売事業およびインドネシアのボトルドウォーター事業の好調に加え、さい帯血バンク事業で過去最高収益を計上し、前期比8.2%増収。



セグメント別概況

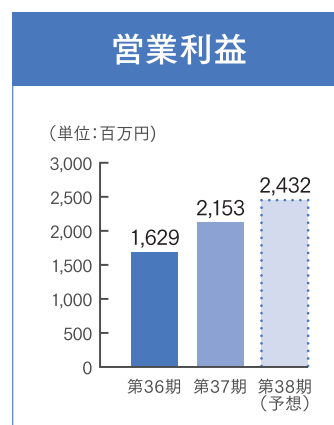
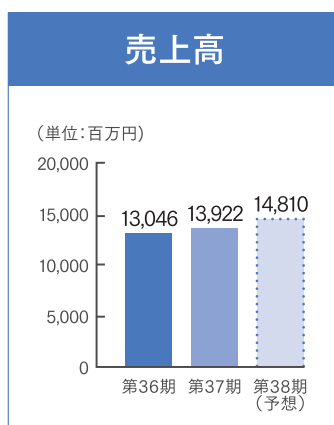
ウォーターヘルスケア事業

売上高

139億22百万円

前期比 6.7%増 ↗

整水器販売事業では、健康経営提案によりBtoBからBtoCへと展開する販売方式に注力し、整水器の売上高が8%増収と順調に推移。38期は、先行投資をしながら増収増益を見込む。



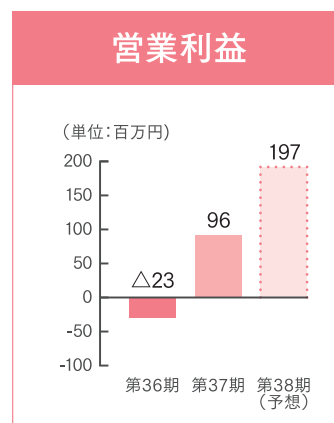
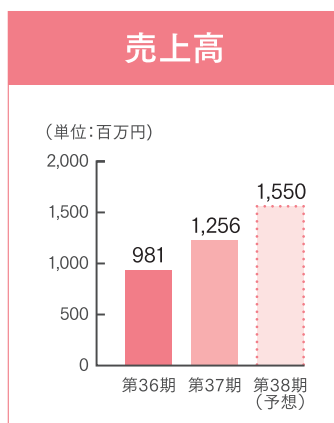
医療関連事業

売上高

12億56百万円

前期比 28%増 ↗

民間さい帯血バンク事業が前期比で売上高34.3%増、経常利益97.8%増と過去最高収益を計上。電解水透析事業は、営業展開が本格化し、次期より収益貢献の見込み。



ウォーターヘルスケア事業

「健康経営」の提案によるBtoBからBtoCへの整水器販売拡充

主要製品である電解水素水整水器におきましては、企業への「健康経営」の提案による企業一括導入に取り組み、37期は104社に918台を導入いただきました。また、企業設置から個人のご購入に繋がるBtoBからBtoCへの展開が拡充したことにより、直販部門の売上高は前期比7.5%増と好調に推移いたしました。卸、OEM部門では、国内での大手新規取引先の開拓とともに、東南アジアを中心とした海外展開拡大に取り組んでおります。



■【蛇口から取水型】
電解水素水整水器 TRIM ION GRACE



■【アンダーシンク型】
電解水素水整水器 TRIM ION GRACIA



■「健康経営」の提案による電解水素水整水器の企業一括導入の例として、兵庫トヨタ自動車様の記事が新聞に掲載されました。

日本流通産業新聞：2019年1月1日掲載
※記事内の「健康保険組合」は「労働組合」の誤りです。

[詳しい内容はこちら](#)



インドネシアのボトルドウォーター事業 今後の飛躍的成長を見据え、生産体制強化

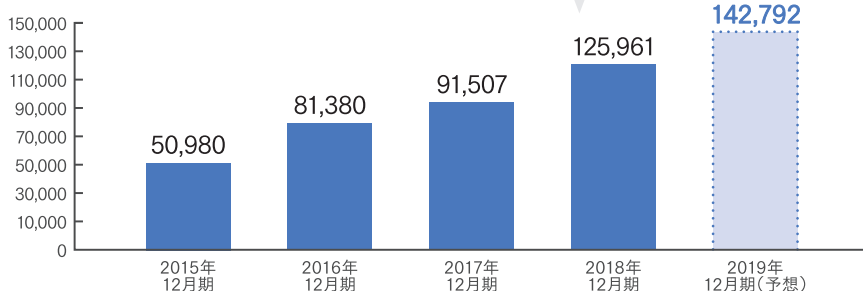
インドネシアの当社グループ会社 PT SUPER WAHANA TEHNOのボトルドウォーター事業では、売上高が前期比37.7%増(現地通貨ベース)と順調に伸長しており、現在、倍の生産体制構築に向けて準備を進めております。

2019年12月期は13.4%増の売上高を計画。2025年度には現在の約18倍の規模(売上高170億円)にする長期目標を掲げ、その実現に向けて、シナルマスグループとの連携を一層強化するとともに、設備投資につきましても具体的な検討を進めております。

ボトルドウォーター事業 (PT SUPER WAHANA TEHNO)

売上高

(単位:百万ルピア)



■Pristine

医療関連事業

「電解水透析」収益貢献ステージへ

電解水透析システムは、2019年5月末時点で、17施設、379床に導入されています。昨年7月に厚生労働省から提示された腎疾患対策検討会報告書では、CKD(慢性腎臓病)重症化予防を徹底するとともに、CKD患者(透析患者および腎移植患者を含む)のQOL(生活の質)の維持向上を図ることが方針に掲げられ、電解水透析システムがまさに合致するものとして透析施設での認知が広がってきております。現在、腎臓・透析関連の学会においてランチョンセミナーの展開など営業活動に注力しており、約300病院と折衝中です。既に本年に納品の受注を数件いただいております、まずは売上高2億円を目標に展開しております。



■個人用透析システム ■多人数用透析システム

中国病院運営事業 着実に進捗

中国の病院運営事業では、昨年開院した北京漢琨(ハンクン)医院の本格的稼働に向けて着実に進捗しております。まだ、先行投資段階ですが、収益貢献は2021年3月期を想定しており、本格稼働時の売上高は40~50億円、営業利益率は20%以上を見込んでおります。当医院は、昨年6月の第37回経協インフラ戦略会議の資料「海外展開戦略(医療)概要」において、日本の国際的な医療拠点(政府支援に関わるもの)の事例1として掲載されました。当資料は、首相官邸HP内に掲示されております。現在、WEBでのプロモーション展開に注力するとともに、中国最大の保険グループと提携するなど、集患対策に取り組んでおります。

・日本の医療拠点はアジアを中心に平成30年5月時点で27ヶ所が開業(4ヶ所開業予定を含む)。



■海外展開戦略(医療)概要(2018年6月)

さい帯血バンク事業が過去最高収益計上

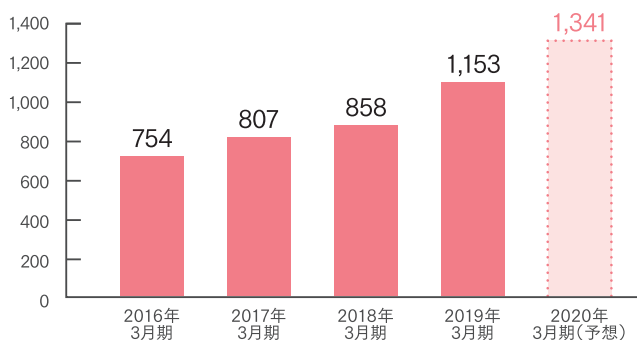
国内最大の民間さい帯血バンクを運営する株式会社ステムセル研究所では、売上高が前期比34.3%増、経常利益が97.8%増となり、過去最高の収益を更新いたしました。同社の保管数国内シェアは約99%(年間新規保管ベース:厚生労働省健康局調べ)となっております。

自己さい帯血治療の実用化に向けた臨床試験では、高知大学 医学部における小児脳性麻痺などの脳障害に対する第1相試験(Phase1)が順調に終了しております。また、自閉症スペクトラム障害(ASD/国内において、100人に1人~2人の割合で発生)に関する臨床研究(Phase1)が本年中に開始される予定です。自己さい帯血を用いた再生医療(細胞治療)は、脳性麻痺などこれまで治療法がなかった病態に対する全く新しいアプローチとして大変注目されております。臨床研究の進展とともに、さい帯血を保管する需要は大いに高まることが想定され、保管サービスのグローバル品質基準化や収集、保管などの事業インフラの拡充にも取り組んでおります。また、将来の業容の拡大を目的に実施している東京大学医科学研究所附属病院との共同研究を引き続き推進し、国内初となる自家さい帯保管サービスおよびその臨床応用の実現を目指しております。

民間さい帯血バンク事業(株式会社ステムセル研究所)

売上高

(単位:百万円)



国内最大級の細胞保管施設(横浜市)



■読売新聞:2019年3月1日掲載

読売新聞に掲載されました

フリーキャスター

順天堂大学医学部附属練馬病院 小児科 教授

内田恭子氏 × 新島新一氏 対談

2019年3月1日、読売新聞にてステムセル研究所でさい帯血を保管されているフリーキャスターの内田恭子さんと順天堂大学医学部附属練馬病院 小児科の新島新一教授の対談形式で、さい帯血に関する最新情報と今後の可能性についてお話をいただいております。

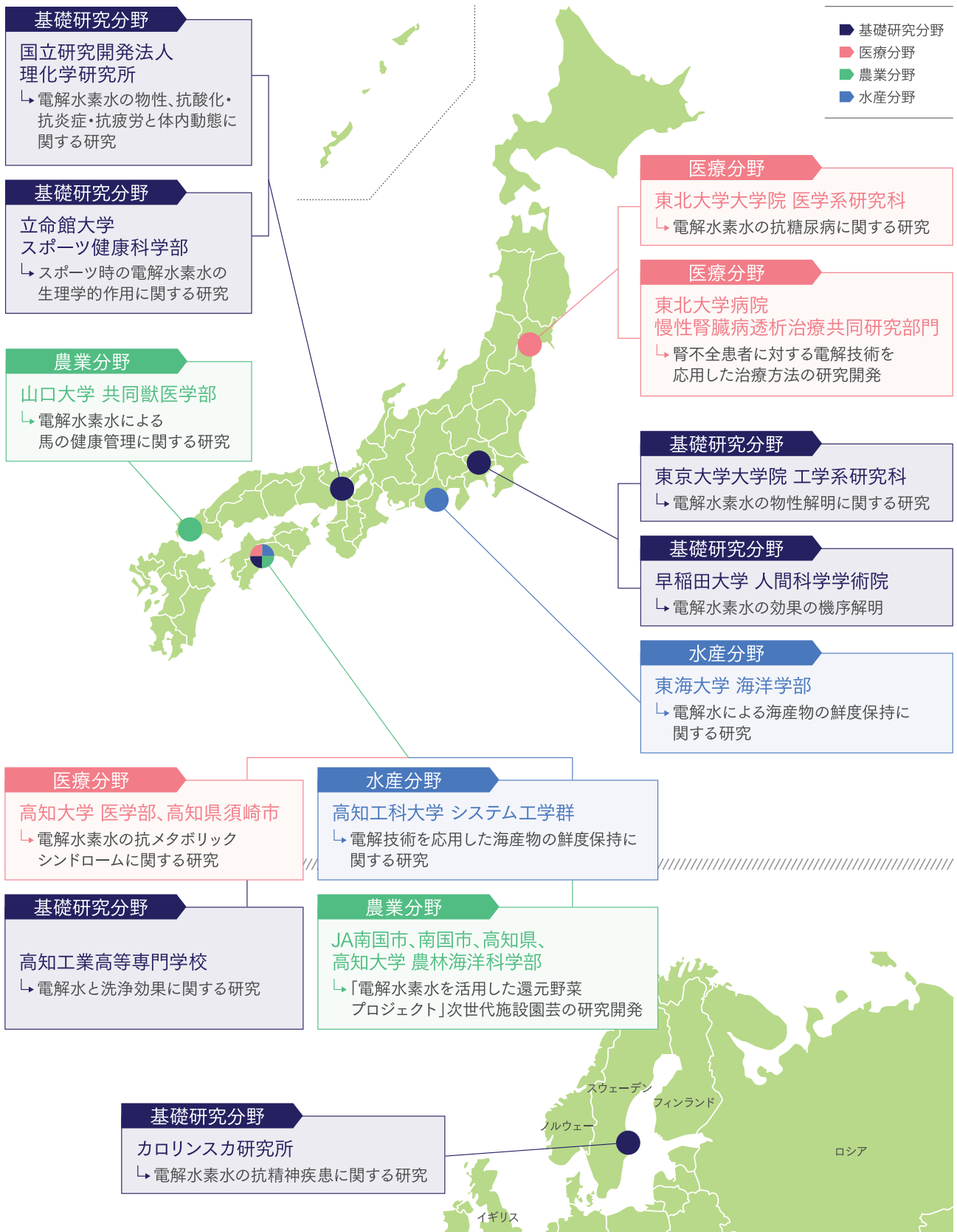
※役職は、2019年3月1日時点

詳しい内容はこちら



電解水素水の有用性・有効性について

国内外の大学・研究機関・自治体と共同研究を展開しております。



「第15回日本疲労学会総会・学術集会」にて理化学研究所との共同研究発表

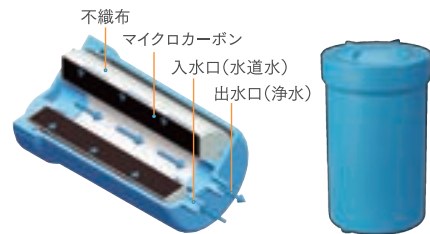
2019年5月18日、大阪市立大学にて「第15回日本疲労学会総会・学術集会」が開催され、国立研究開発法人 理化学研究所より当社との共同研究内容が発表されました。

発表研究内容

- 「疲労動物モデルに対する電解水素水の疲労軽減効果研究」
疲労モデル動物を用いた検討
- 「電解水素水の単回摂取による抗疲労効果の検証」
ヒトを対象とした臨床試験の検討

マイクロカーボンカートリッジの除去能力が、 16物質除去から19物質除去へと向上しました。

当社の浄水器に使用するマイクロカーボンカートリッジは、内部に無数の微細孔をもつ多孔性の炭素物質で構成されており、溶解物質の吸収が速く、濁りなどの微粒子までしっかり取り除きます。また、目詰まりしにくく、水が流れやすいのが特長です。



JIS規格指定13物質			9	トリクロロエチレン
1 遊離残留塩素(カルキ)	5	プロモジクロロメタン	10	1,1,1-トリクロロエタン
2 濁り	6	ジブロモクロロメタン	11	CAT(農業)
3 総トリハロメタン	7	プロモホルム	12	2-MIB(カビ臭)
4 クロロホルム	8	テトラクロロエチレン	13	溶解性鉛

浄水器協会自主規格6物質			
1	ジェオスミン(カビ臭)	4	NEW 四塩化炭素
2	フェノール類	5	NEW ベンゼン
3	陰イオン界面活性剤	6	NEW シス-1,2-ジクロロエチレンおよびトランス-1,2-ジクロロエチレン

財務ハイライト

FINANCIAL HIGHLIGHTS

連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

		第36期 2018年3月31日	第37期 2019年3月31日
資産の部	流動資産	17,050	15,805
	固定資産	6,987	6,808
	資産合計	24,038	22,613
負債および 純資産の部	流動負債	3,085	3,207
	固定負債	3,164	2,010
	純資産	17,788	17,395
	負債・純資産合計	24,038	22,613
自己資本比率	72.5%	75.5%	

連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

	第36期 (2017年4月1日～ 2018年3月31日)	第37期 (2018年4月1日～ 2019年3月31日)
売上高	14,027	15,179
営業利益	1,606	2,250
経常利益	1,681	2,121
税金等調整前当期純利益	1,842	2,055
親会社株主に帰属する当期純利益	1,181	1,250

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

	第36期 (2017年4月1日～ 2018年3月31日)	第37期 (2018年4月1日～ 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,151	1,875
投資活動によるキャッシュ・フロー	△321	△500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,890	△3,115
現金および現金同等物の期末残高	10,920	9,135

IRサイトをリニューアルいたしました

2019年2月27日、当社ウェブサイト内のIRサイトをリニューアルいたしました。株主・投資家の皆さまに、より分かりやすく企業情報を提供するため、財務、株式情報や株主優待についてのQ&Aなどの新コンテンツを追加し、より見やすく、使いやすいデザイン構成になっております。ぜひご覧ください。



IR、決算、ニュースリリースに関する最新の情報をお届けするIRメール配信サービスを設けましたので、ぜひご登録ください。



IRサイト・IRメール配信のご登録はこちら



株主優待制度のご案内 // SHAREHOLDER BENEFITS

対象株主

毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された100株(1単元)以上の当社株式を保有する株主様

株主優待制度の内容

当社が販売する浄水器1台もしくは浄水カートリッジ1本の標準価格の30%の割引が適用されます。

株主優待のお申し込み方法

株主優待のお申し込みは、当株主通信に同封の「株主優待のご案内」付属の専用はがきにてお申し込みください。



株主優待制度に関する詳細はこちら



会社情報 // CORPORATE INFORMATION

会社概要 (2019年3月31日現在)

商号	株式会社日本トリム NIHON TRIM CO., LTD.
本社	大阪市北区梅田二丁目2番22号 ハービスENTオフィスタワー22階
設立	1982年(昭和57年)6月12日
資本金	992,597千円
従業員	500名(関係会社含む)

役員 (2019年6月18日現在)

代表取締役	森澤 紳勝
専務取締役	尾田 虎二郎
専務取締役	田原 周夫
常務取締役	西谷 由実
取締役(社外)	亀井 美登里
常勤監査役	森澤 邦雄
監査役(社外)	今橋 正隆
監査役(社外)	篠田 哲志

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告とし、当社ホームページ (http://www.nihon-trim.co.jp/)に掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は日本経済新聞に掲載する方法といたします。